

## 北米・中東線好調で8%増の149万トン

### ■スキポール空港24年貨物量

ロイヤル・スキポール・グループによると、2024年（1～12月）の阿姆斯特ダム・スキポール空港の貨物取扱量は前年比8.2%増の149万1537トンだった。年末にかけて取扱量が減少した路線もあったが、年間を通じて北米線や中東線の貨物量が伸びた。航空機発着回数は7.2%増の47万3813回。このうち貨物便は1.9%減の1万5661回だった。

貨物取扱量の内訳は、積み込みが8.8%増の70万4369トン、取り下ろしが7.8%増の78万7168トン。積み込みの路線別内訳は、欧州線（国内線を含む）が15.4%増の7万2751トン、北米線が25.9%増の15万3529トン、中南米線が12.9%減の6万3528トン、アフリカ線が9.0%増の4万1835トン、中東線が15.8%増の12万4750トン、アジア線が1.8

%増の24万7976トン。

取り下ろしの路線別内訳は、欧州線（国内線を含む）が0.8%増の7万4152トン、北米線が21.6%増の10万3847トン、中南米線が14.1%減の9万1348トン、アフリカ線が9.4%増の8万2359トン、中東線が20.1%増の13万6508トン、アジア線が8.2%増の29万8955トン。